

## 「LJL プロゲーマーへの道」 5分

### ■1 PPT

今回はプロゲーマーになるためにこの2年間どんな活動をしてきたかをプレゼンテーション致します。

### ■2 PPT LOLのゲームの映像・ファンが熱狂してる映像・LOLの世界地図

私がプレイしているのは「League of Legends」というゲームです。通称「LOL」と呼ばれ、5人対5人で対戦し、味方と協力しながら敵チームの本拠地を破壊して勝利を目指していきます。競技人口は世界で1億人以上、年間の賞金総額は74億円を超えます。世界中に公式リーグがあり、毎年秋には優勝賞金200万ドルを争う「World Championship」が開催されています。

### ■4 PPT ピーナッツ選手の画像

私は高校生の時、韓国のトップ選手であるピーナッツ選手のプレイに魅了され、こんな風に上手くなりたい、とにかくゲームが上手くなりたいと思いました。

当時はパソコンを持っておらず、「LOL」をプレイする機会も少なかったのですが、他のゲームの大会で入賞したこともあり、プロになる自信はありました。

### ■5

実際授業ではプレイで同級生を圧倒し、プロになりたいという意識も周りより高かったと思います。アマチュアチームにも入り強い選手と練習していても手ごたえがあったので、プロになるのに時間はかからないと思っていました。

### ■6

そして1年生の10月、全国の大学や専門学校が出場する「全日本学生選手権」に出場しました。講師の厳しい指導の元練習を重ね、決勝まで順調に勝ち上がることが出来ました。相手は前年の覇者東京工科大学。最初は互角に渡り合いましたが、結果は完敗でした。先輩の最後の大会を優勝で飾ることができず、悔しい気持ちでいっぱいでした。

結果は残念でしたが、準優勝を評価され11月に中国長沙市で開催される「IEF 国際学生大会」に招待されました。

### ■7 中国

この大会は中国や韓国、タイなど、アジア10ヶ国の代表する学生チームが参加。

会場となった<sup>ちょうさ</sup>長沙市コンベンションセンターは中国最大級展示会場で開催されました。

### ■8 中国

豪華な演出の中でのプレイや、他の国の人との対戦は、これまでに感じたことのないくらいワクワクしました。一緒にご飯を食べたり、身振り手振りで話をしたり、ゲームを通じて海外の人と触れ合い、貴重な経験が出来ました。ただ試合は2勝しかすることが出来ず、ここでも悔しい思いをしました。

## ■9

大きな大会での敗戦で、それまでの自信はなくなりました。  
そして先輩が卒業し、学校のチームで自分が中心となりました。  
メンバーにアドバイスしたり指摘したり、コミュニケーションを取る事を意識しました。  
学校で一番得たものは人との関わり方だと思います。  
練習にも一層励みました。

## ■10

でも思うように結果はついてきません。  
エースというプレッシャー、自分のせいで負けた、自分のポジションがもし違う選手だったら。  
不安は大きくなり、ストレスで蕁麻疹がでたり胃酸が逆流する病気にかかりました。  
今回こそはと優勝を目指した2020年の学生選手権もベスト4で敗退。  
もうプロは無理かもと、頭をよぎりました。

## ■11 LjL 1チーム6名 日本最上位の選手54名しか所属できない狭き門

日本には「LjL」という「LOL」のプロリーグがあります。大手企業がスポンサードする8チームで構成された、日本で一番基盤のしっかりしたプロリーグです。LjLでは毎年、新たな才能の発掘のため「Scouting Grounds」という合同トライアウトを行っています。

## ■12 SCOUTING GROUNDS 何名参加何名合格

昨年11月私はこれが最後のチャンスだと思い、挑みました。  
これまでチームを背負ってきましたが、トライアウトは自分一人の力が試されます。  
当日不思議と緊張せず、今までにないくらいプレイの精度が高く、  
良い成績を残すことが出来ました。  
そして数日後私のプレイを見てくれた、複数のプロチームから声をかけて頂きました。  
その中から「ラスカルジェスター」に入ることを決め、所属することが出来ました。

## ■13 ラスカルジェスター

ラスカルジェスターは、LjLが開幕した2014年から参加している名門チームです。  
韓国の強豪チームとパートナー契約を結び、強化にも力を入れています。  
さらに厳しい環境で自分を磨き、世界一ゲームを上手くなります。  
そしてこれからゲームを教える仕事もしたいです。学んできたものを人に教えることで自分も成長できるからです。

最後に、今の学校のチームになって優勝に縁がなかったですが、12月のJIKEICOMゲーム&eスポーツショウで優勝することが出来ました！

この場を借りて、プロゲーマーへの道を応援してくれた両親、アマチュアチームでも学校でも指導してくれたアーサー先生、ありがとうございました！

ご清聴ありがとうございました。